

Windows11 への OS バージョンアップ後に予想されるトラブルの対処法

▶ 初めに

先日 Windows11 への OS バージョンアップ後に就学奨励費ソフトウェアが体験版として動作してしまう事象が報告されました。

Windows 11 にバージョンアップすると、コンピュータのハードウェア構成に基づいて計算される「ハードウェア ID」がなぜか変わってしまう事があり、それが原因で就学奨励費ソフトウェアが「製品版」として起動しなくなってしまう。

またその状況の下で就学奨励費ソフトウェアを起動すると、就学奨励費ソフトウェアが「直近に開いていた令和 7 年度のデータファイル」の場所(パス)の記録が失われてしまう事がわかりました。

本書では以下、Windows11 にバージョンアップしたのちに、これまで通り就学奨励費ソフトウェアをご活用いただくための対処法をご案内いたします。

現時点で Windows 11 へのバージョンアップが完了している場合、本書を読み終えるまで就学奨励費ソフトウェアを起動しないでください。

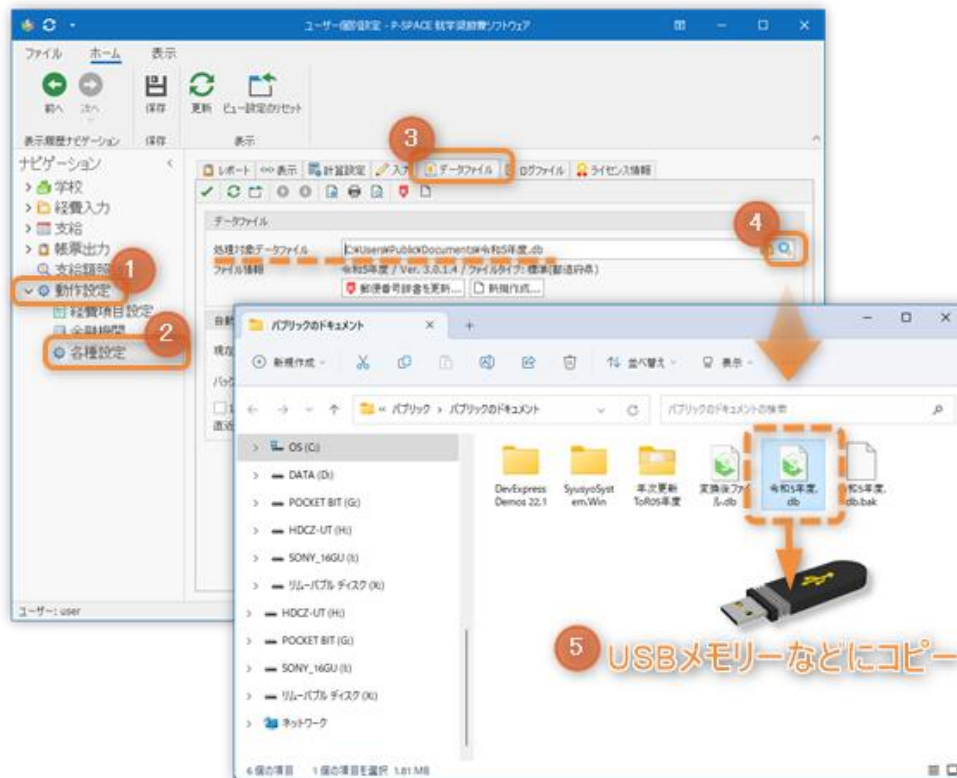
(Windows 11 へのバージョンアップ後に就学奨励費ソフトウェアを起動すると、「直近に開いていた令和 7 年度のデータファイル」を特定するための手順が必要になってしまいます。)

▶ 対処

Windows11 へのバージョンアップがまだ行われていない場合は下記 [A\) の操作](#) を、すでに Windows 11 へのバージョンアップが完了している場合は下記 [B\) の操作](#) を、それぞれ行ってください。

A) 現在の OS が Windows 10 (=Windows 11 へのバージョンアップ前) の場合

念のため、令和 7 年度のデータファイルのバックアップコピーを作成しておいてください。



併せて、(念のために)現在の「処理対象ファイル」の場所を控えて下さい。

以下にその手順を示します。



Windows 11 へのアップデートが完了したら、その後、**就学奨励費ソフトウェアを起動する前に**本書「[ライセンス情報の更新操作](#)」に基づいてライセンス情報の更新を行ってください。

[ライセンス情報の更新操作](#)に成功したら、就学奨励費ソフトウェアを起動し、製品版として動作することを確認してください。

以上で必要な操作は完了です。もしも製品版として動作しない場合はP-SPACE サポートまでその旨お問い合わせください。(support@p-space.jp / 電話: 0824-74-0353)

B) 現在の OS が Windows 11 (=Windows 11 へのバージョンアップ後) の場合

Windows 11 へのアップデート後に、就学奨励費ソフトウェアを起動していない場合は本書「[B-1\) Windows 11 へのバージョンアップ後、就学奨励費ソフトウェアを起動していない場合](#)」をご覧ください。

Windows 11 へのアップデート後、すでに就学奨励費ソフトウェアを起動している場合は本書「[B-2\) Windows 11 へのバージョンアップ後、就学奨励費ソフトウェアを起動した場合](#)」をご覧ください。

B-1) Windows 11 へのバージョンアップ後、就学奨励費ソフトウェアを起動していない場合

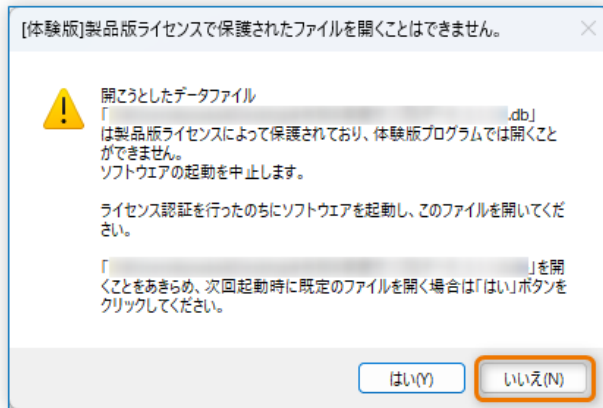
就学奨励費ソフトウェアを起動する前に、本書「[ライセンス情報の更新操作](#)」に基づいてライセンス情報の更新を行ってください。

[ライセンス情報の更新操作](#)に成功したら、就学奨励費ソフトウェアを起動し、製品版として動作することを確認してください。

以上で必要な操作は完了です。もしも製品版として動作しない場合はP-SPACE サポートまでその旨お問い合わせください。(support@p-space.jp / 電話: 0824-74-0353)

B-2) Windows 11 へのバージョンアップ後、就学奨励費ソフトウェアを起動した場合

ハードウェア ID が変更されてしまった影響で体験版として動作する場合は、以下のようなメッセージが表示されます。



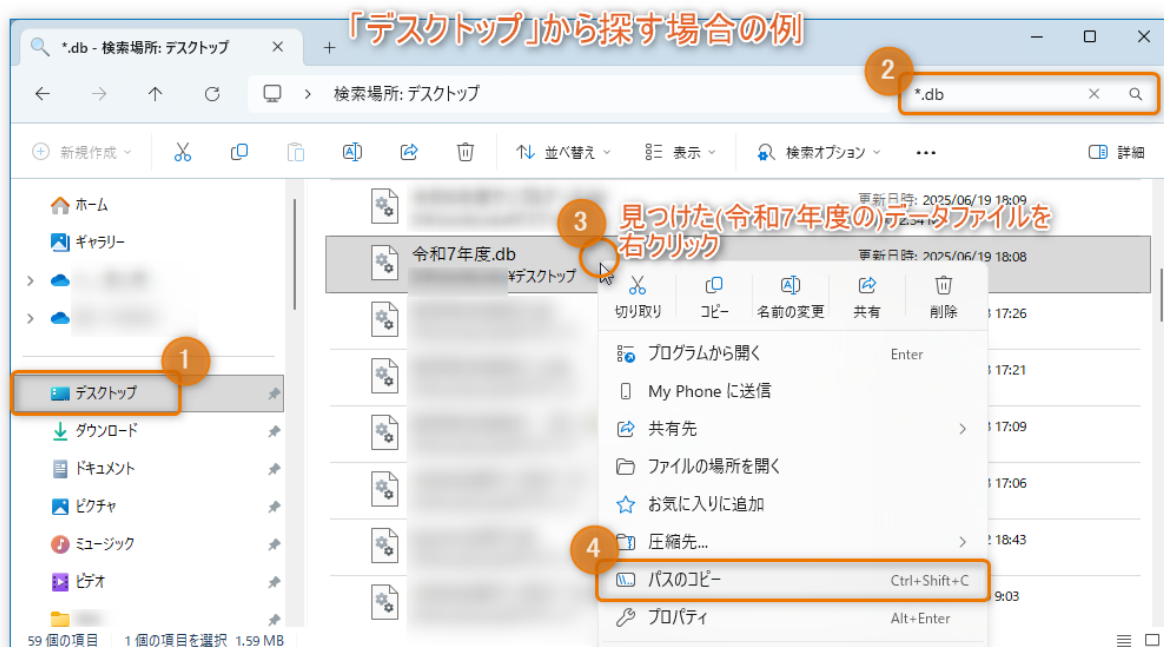
このメッセージが表示されましたら「いいえ」をクリックしてください。

つづいて就学奨励費ソフトウェアを起動する前に、本書「[ライセンス情報の更新操作](#)」に基づいてライセンス情報の更新を行ってください。

[ライセンス情報の更新操作](#)に成功したら、次に(就学奨励費ソフトウェアを起動する前に)「直近に開いていた令和 7 年度のデータファイル」を探してください。

データファイルの場所に心当たりがなく、見つけれない場合は Windows 標準の検索機能を用いて令和 7 年度用のデータファイルを探してください。

『おそらくこのフォルダの中(あるいはこのフォルダのサブフォルダの中)にあるだろう』と想像されるフォルダのウィンドウを開き、右上の検索欄に「*.db」(いずれも半角)やデータファイルの名前の一部、例えば「令和 7 年」「R7」等を入力して検索してください。



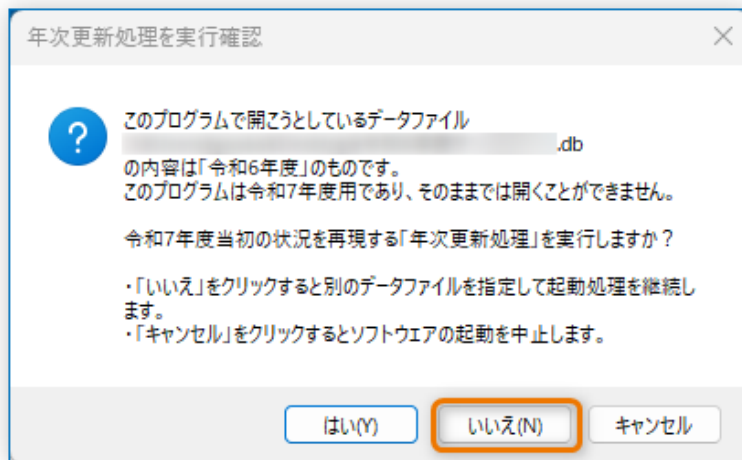
検索結果に『直近に開いていた(であろう)令和 7 年度のデータファイル』を見つけたら、右クリック(上図③)して「パスのコピー」(上図④)をクリックします。

その後、就学奨励費ソフトウェアを起動してください。

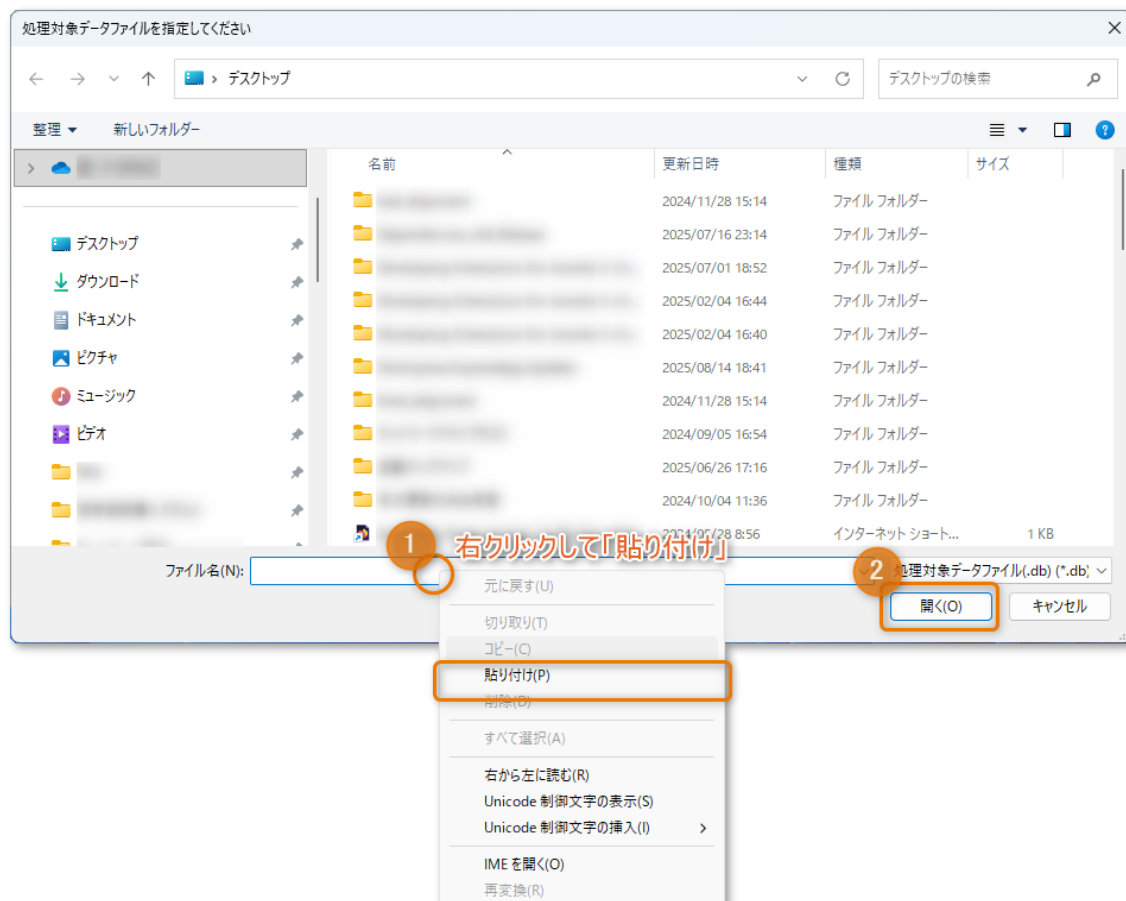
起動した時に年次更新処理を促すメッセージが表示されるかどうかによって、以降の操作が異なります。

B-2-1) 年次更新処理を促すメッセージが表示された場合

お使いのコンピュータに令和6年度版ソフトウェアがインストールされている(あるいはインストールされていた)場合は、以下のような年次更新処理を促すメッセージが表示されます。



このメッセージの「いいえ」ボタンをクリックすると、令和7年度のデータファイルを開くためのウィンドウ(下図)が開きます。



「ファイル名」欄を右クリックしてコピーしたパスを「貼り付け」した後(上図①)、「開く」ボタン(上図②)をクリックしてください。

「直近に開いていた(であろう)令和7年度のデータファイル」を開いた状態で就学奨励費ソフトウェアが起動するはずです。

以上で必要な操作は完了です。もしも製品版として動作しない場合はP-SPACE サポートまでその旨お問い合わせください。(support@p-space.jp / 電話: 0824-74-0353)

B-2-2) 何もメッセージが表示されず、就学奨励費ソフトウェアが起動した場合

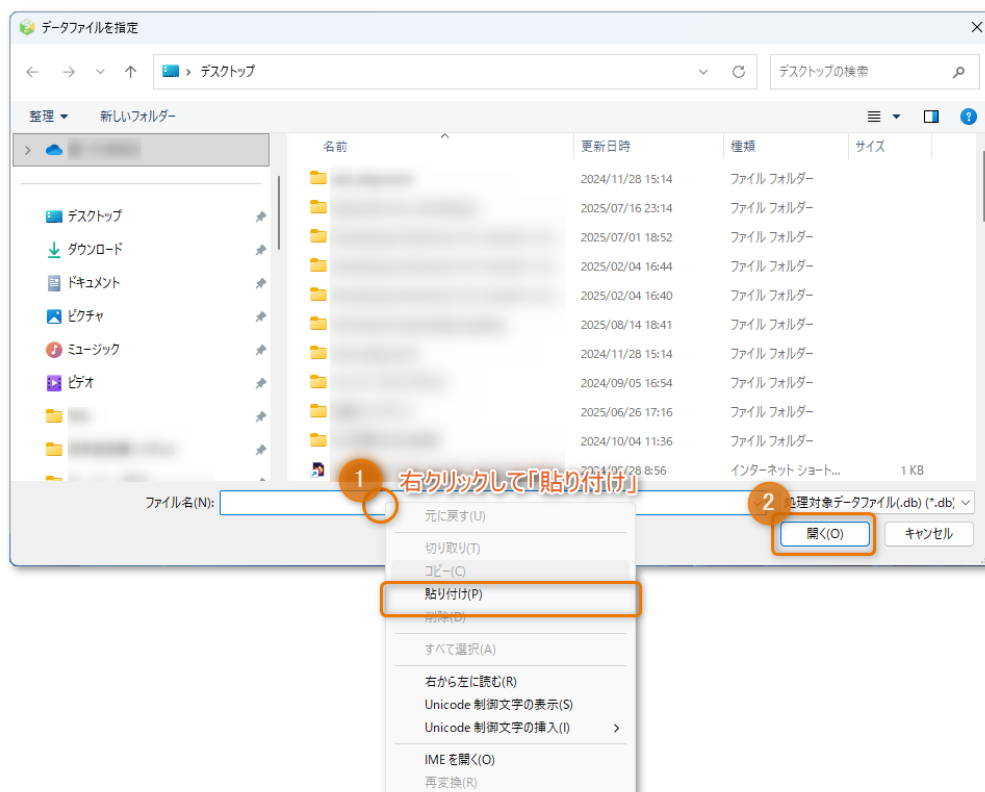
お使いのコンピュータに令和 6 年度版ソフトウェアがインストールされていない場合、就学奨励費ソフトウェアは何も入力されていない「新規ファイル」を作成して開きます。



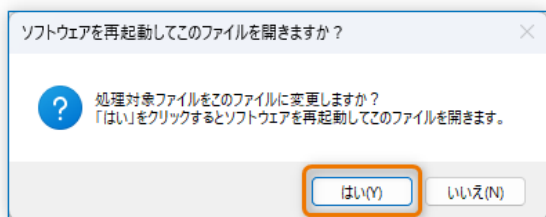
画面左側ナビゲーションから「動作設定」「各種設定」の順にクリックし、「データファイル」タブの『処理対象ファイル』欄にあるフォルダアイコンをクリックしてください。



令和 7 年度のデータファイルを開くためのウィンドウ(下図)が開きます。



「ファイル名」欄を右クリックしてコピーしたパスを「貼り付け」した後、「開く」ボタンをクリックしてください。



表示されるメッセージに「はい」をクリックすると「直近に開いていた(であろう)令和 7 年度のデータファイル」を開いた状態で就学奨励費ソフトウェアが再起動するはずです。

以上で必要な操作は完了です。もしも製品版として動作しない場合やデータファイルの内容が開けない場合は P-SPACE サポートまでその旨お問い合わせください。(support@p-space.jp / 電話: 0824-74-0353)

▶ ライセンス情報の更新操作

本件の事案によって Windows11 にバージョンアップした後ハードウェア ID が変更されてしまったために製品版として起動しなくなった場合は、再度ライセンス認証を行っていただくことによって再び製品版として動作するようになります。

しかしながら購入いただいていますライセンスは弊社ライセンスサーバー上で変更前のハードウェア ID に結び付けられていますので、再度のライセンス認証操作を行っていただく前に**変更前のハードウェア ID との結びつきを解除する必要があります。**

つきましては以下の手順によって変更後のハードウェア ID を調べ、「変更後のハードウェア ID」と「Windows 11 にバージョンアップしたことによって再認証したい旨」を併記して support@p-space.jp までご一報ください。

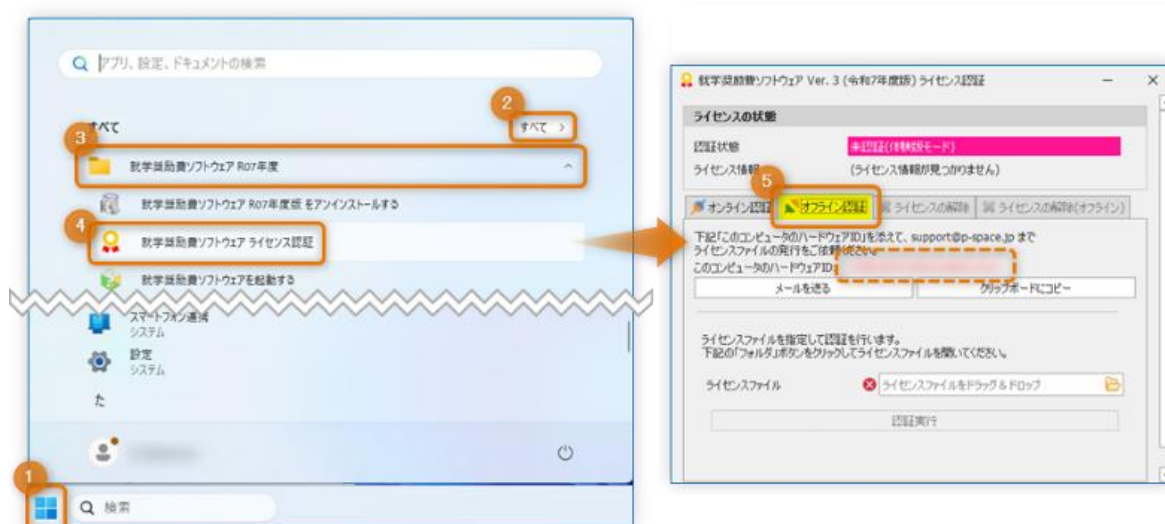
変更後のハードウェア ID を調べる

変更後のハードウェア ID は、ライセンス認証プログラムの「オフライン認証」タブに赤字で記載されています。

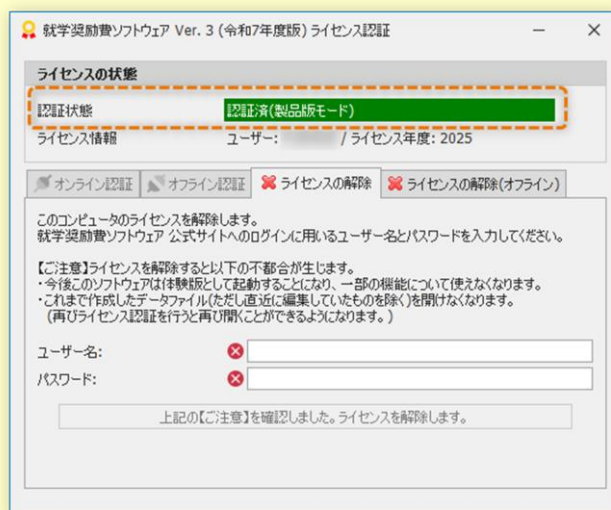
Windows のスタートボタン(下図①)をクリックし、「すべて>」ボタン(下図②)をクリックしてください。

下の方にスクロールすると「就学奨励費ソフトウェア R07 年度」フォルダ(下図③)がありますので、それをクリックして開き、「就学奨励費ソフトウェア ライセンス認証」(下図④)をクリックしてライセンス認証プログラムを起動してください。

「オフライン認証」タブをクリックすると「このコンピュータのハードウェア ID」欄に(変更後の)ハードウェア ID を確認できます。



ライセンス認証プログラムの「認証状況」欄に『認証済(製品版モード)』と表記されている場合、お使いのコンピュータのハードウェア ID が変更されていない事がわかります。



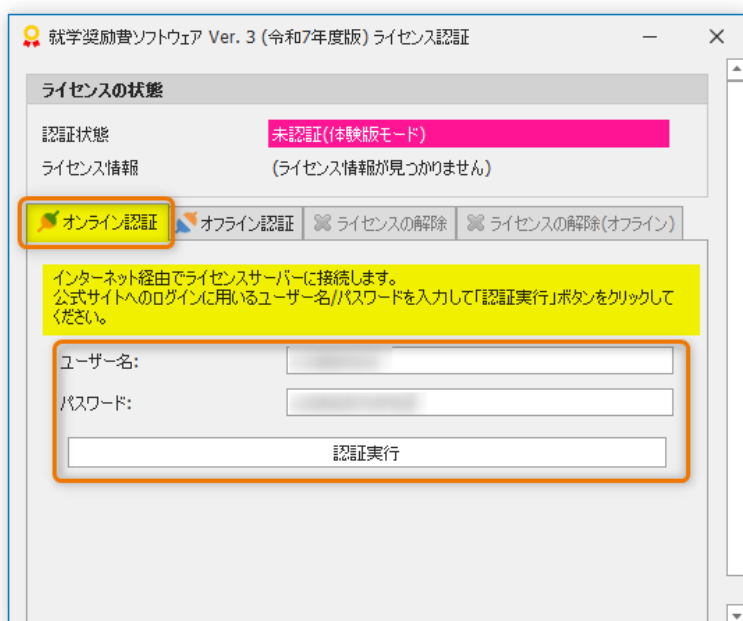
その場合には問題が生じていませんので、このたび対処していただく操作はありません。
ライセンス認証プログラムを終了させ、これまで通り就学奨励費ソフトウェアをご活用ください。

P-SPACE サポートまでハードウェア ID をお知らせください

表示されるハードウェア ID と「Windows 11 にバージョンアップしたことに伴って再認証したい旨」を support@p-space.jp までご一報ください。

変更後のハードウェア ID をお知らせいただいた後、弊社にてライセンスサーバーにおけるライセンスの結びつきを修正します。

結びつきを修正した後、折り返しご連絡差し上げますので、ライセンス認証プログラムの「オンライン認証」タブからライセンス認証を行ってください。



「認証成功」メッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

これ以降、就学奨励費ソフトウェアは再び製品版として動作します。
引き続き、本書記載の必要な操作を継続してください。

▶ ご参考

- サポートフォーラム 「お知らせ」カテゴリ
Windows のアップデート後に就学奨励費ソフトウェアが体験版として動作してしまう事象が報告されました
<https://syusyo.p-space.co.jp/forum?view=topic&catid=2&id=153>
- サポートフォーラム 「ライセンス認証」カテゴリ
<https://syusyo.p-space.co.jp/forum?view=category&catid=19>
- サポートフォーラム 「運用」カテゴリ データのバックアップ取得方法
<https://syusyo.p-space.co.jp/forum?view=topic&catid=22&id=34>